

令和4年度 第4回 福井警察署協議会 開催結果

1 日時

令和4年12月22日（木）午後2時00分から

2 場所

福井警察署

3 出席者

- 協議会委員 9名
- 福井警察署 署長以下8名

4 内容

- (1) 協議会会長挨拶
- (2) 福井警察署長挨拶
- (3) 提言に対する取組状況
 - ア 子ども、女性、高齢者対策

- (ア) 刑事・生活安全関係
 - (イ) 交通関係
 - (ウ) 地域関係

イ 地域の実態に即した効果的な警察活動

- (ア) 自転車盗被害防止対策
 - (イ) 連続器物損壊事件の早期検挙
 - (ウ) 分析に基づいた飲酒運転取締り
 - (エ) 新たな形態の雑踏警備実施

ウ 安全・安心な「まちづくり」の推進

- (ア) 防犯カメラの設置促進
 - (イ) 相談者等への防犯カメラの設置促進活動
 - (ウ) 公共交通機関との合同テロ対処訓練

エ 若手警察官のスキルアップに向けた取組

- (ア) 技能指導官の効果的な運用
 - (イ) 現場対応訓練

(4) 質疑応答

【委員】

提言に対する取組状況の説明を受け、警察の様々な活動により安全・安心が守られていると実感した。我々もできる限り協力するので、これからもご尽力いただきたい。

【委員】

テレマティクスタグ（GPSでスピードやブレーキのタイミングを常時記録するタグ）を活用した安全運転診断は、点数で評価されるので分かりやすく、非常に良い啓発活動だと思う。継続して実施してい



ただきたい。

【委員】

最近、「特殊詐欺に気をつけてください。」などと広報しながら巡回しているパトカーを見かけるが、最近の特殊詐欺の被害状況はどのようなものか。

【警察】

特殊詐欺にはオレオレ詐欺や還付金詐欺など種類が色々あるが、全体として、非常に多く発生しているのが現状である。

全国の検挙事例から、広報の音声を嫌がる犯人側の心理を踏まえ、音声パトロールを実施している。

【委員】

市役所の職員を騙って還付金があると騙す手口を聞くが、還付金があると言われていたのに、なぜお金を振り込むことになるのか。振り込む認識がないのか。自治会の集会などで、特殊詐欺の話をするが、どのように説明をしたらいいかおしえて欲しい。

【警察】

還付金詐欺の手口とは、「還付金がある。ATMで手続きができる。」などの文言でATMに行かせ、携帯電話で通話しながらATMを操作させるもので、指示されるままボタンを押していくと、犯人側の持っている口座に自分の口座から振り込む手順をしているというものである。騙された方は、自分が振り込んでいるという認識がないまま、自分の口座に振り込まれると信じてボタンを押している。

また、「今使っているキャッシュカードが古くて使えないから新しいカードと交換する。暗証番号を書いて入れてください。」などの文言でカードを騙し取る手口もあることから、暗証番号は絶対に教えないということが重要である。

【委員】

会合の際には、暗証番号を教えるのはダメ、キャッシュカードを渡すのはダメだということを伝えていく。